

物を担ぎ、プロペラを回して空を飛んでいた。21世紀は遠い未来であった。

だが、人間の想像力には限界があるらしい。どの未来の予想図にもパソコンやスマートフォンをいじっている地球人はいなかった。まだパソコンやスマホ

地へ移動できる器械である。わたしがその箱に入って「松浦」のボタンを押すと、瞬間に松浦の市役所前あたりに移動している。もう、飛行機に乗り、福岡空港からバスに乗ることもないのである。瞬間湯沸かし器とい

る。また、携帯電話やメールのない時代には、どんな連絡方法があったのかも忘れた。手紙が葉書で連絡するしかなかったのか。娯楽はラジオと映画だった時代。わが家にテレビが来た日はよく覚えている。それぞれの家庭から「お笑い三人組」や「ラ

な時代が来るのかもしれない。故郷へは福岡空港からバスに乗る。車窓からの風景が昔のままだとうれしくなる。古い百姓家の庭には家族の洗濯物が干してある。遠くの神社には祭りの幟である。三年後、また東京オリンピックだそうである。どんな時代になっているのだろうか。ロボットが会場整備をしているのか。もしかしたら想像もつかないことが起こっているのかもしれない。

空飛ぶ円盤探して

は想像できない時代であった。

移動器の時代は想像もつかない。しかし、想像もできない、そんな時代が来るかもしれないのである。死後の世界もあるとい

ラミー牧場」が流れた時代。映画館がガラガラになった。昭和39年の東京オリンピックで日本はがらっと変わった。初めて、シ

故郷松浦からの帰りの飛行機は夕焼けである。影絵の富士山、光る雲海、遠くの水平線は真っ赤である。空飛ぶ円盤を探すとなく探す。なんだか生きていることを実感する風景である。そして、東京の夜景で現実に戻る。

これから30年後、どんな時代になっているか想像はできない。月の裏側で宇宙人と握手をしている宇宙飛行士の未来図もあったが、どうなのか。瞬間移動器の未来図もあった。箱に入っ

てボタンを押すと、瞬間に目的な生活をしていったのかと考え

テレビのない時代、人はどんなテレビや立体映画の未来図もあった。でも、もしかしたら、そん

な時代が来るのかもしれない。故郷へは福岡空港からバスに乗る。車窓からの風景が昔のままだとうれしくなる。古い百姓家の庭には家族の洗濯物が干してある。遠くの神社には祭りの幟である。三年後、また東京オリンピックだそうである。どんな時代になっているのだろうか。ロボットが会場整備をしているのか。もしかしたら想像もつかないことが起こっているのかもしれない。

「少年時代、よく「冒険王」や「少年」といった漫画雑誌を回し読みしたものである。まだ週刊誌ではなく月刊誌であった。「少年ケニヤ」「砂漠の魔王」「イガグリくん」などである。正月号はおまけが凄かった。それらの漫画雑誌で、よく未来の特集をやっていた。「21世紀の地球」である。空には葉巻型や丸い空飛ぶ円盤が飛んでいる、火星人は蝸牛によく似た生物であった。地球人は箱のような